

招 集 期 日	令 和 6 年 9 月 18 日 (水)		会議の場所	301 会議室
会議の時刻 及び宣告者	開会の時刻	午後 2 時 30 分	開 会 者	教 育 長
	閉会の時刻	午後 3 時 30 分	閉 会 者	教 育 長
委 員 出 席 状 況				
氏 名	摘 要	氏 名	摘 要	
秋 本 文 子 教 育 長	出 席	平 野 博 之 委 員	出 席	
柿沼拓弥教育長職務代理者	出 席	駒 澤 幸 浩 委 員	出 席	
田 村 和 代 委 員	出 席			
議 事 参 与 者 及 び 説明のための出席者	橋本学校教育部長	新井生涯学習部長	米花教育総務課長	蓮見学校教育課長
	亀村学校給食センター所長	佐藤生涯学習課長	根岸スポーツ振興課長	阿久津図書館長兼郷土資料館長
書 記 名	教育総務課総務係 平川			傍聴人 なし
会議事件名	て ん 末			
開 会 日程第1 前回会議録の承認	教育総務課長	本日、傍聴人はない。		
	教育長	9月定例教育委員会を開会		
	教育長	教育委員会の会議は公開が原則となっているが、人事に関する案件等について出席委員の3分の2以上の多数で議決した場合は非公開とすることができる。本日の日程の中で非公開とすべき案件はないため、全て公開としてよろしいか。		
	教育長	異議なしの声あり		
	教育長	8月定例教育委員会の会議録について諮った。		
教育長	異議なしの声あり			
教育長	前回会議録は、承認された旨宣した。			
教育長	報告事項1について、学校教育課長から説明を求めた。			

会議事件名	て ん 末	
<p>日程第2</p> <p>報告事項1</p> <p>小・中学校における第1学期の表彰等の結果について</p>	<p>学校教育課長</p>	<p>小学校では、全校で第62回埼玉県硬筆中央展覧会において、多数の表彰があった。岩瀬小学校2年生児童と三田ヶ谷小学校4年生児童が埼玉県教育委員会教育長賞を受賞している。</p> <p>中学校では、埼玉県硬筆中央展覧会で各学校が表彰されたほか、北埼玉地区夏季総合体育大会にて、多くの部活動が入賞し、県大会に出場した。全日本中学校通信陸上競技大会埼玉県大会男子棒高跳において、南中学校2年生生徒が6位の成績を収めている。</p>
<p>報告事項2</p> <p>令和6年度給食センター職員等による学校訪問について</p>	<p>教育長</p>	<p>報告事項2について、学校給食センター所長から説明を求めた。</p>
<p>報告事項3</p> <p>学校給食における防災備蓄品（アルファ米）の活用について</p>	<p>学校給食センター所長</p>	<p>栄養教諭、学校栄養職員、調理員及び学校給食センター職員が学校訪問し、給食を生きた教材として活用する「食に関する指導」を行うとともに、給食状況を把握し、学校給食の向上を図るものである。令和6年10月から11月までの2か月間で6校を訪問する。</p> <p>内容については、今年度の食育指導として、朝食の大切さについて、フードロスの削減について行う予定である。今年度の訪問予定校は表のとおりである。なお、川俣小学校は、10月15日に学校給食センター見学を希望したので、学校給食センターで実施予定である。</p> <p>防災担当課である地域振興課と協力し、今年度入替えとなるアルファ米を学校給食の主食として提供することで、生徒の防災意識向上を図るとともに、フードロス削減に寄与するものである。実施日は、9月2日月曜日にわかめご飯のアルファ米を提供した。対象は、市内3中学校の生徒と職員分を合わせた約1,260食分である。実施方法について、生徒たちは第3校時の休み時間を利用し、アルファ米に水道水を入れ、準備し、約1時間後、給食時に主食として喫食した。まとめとして、防災備蓄品であるアルファ米を実際に食べるという体験を通して、災害の備えの大切さを知り、日頃の食事への感謝の心を育むと</p>

会議事件名	て ん 末	
<p>報告事項4 第22回羽生市文化祭の開催について</p>	<p>教育長</p> <p>生涯学習課長</p>	<p>ともに1年に1回防災給食として提供することで、ローリングストック法による備蓄サイクルを実現し、フードロスに貢献することができた。</p> <p>写真は、西中学校でのアルファ米の準備の様子と、主食として喫食している様子である。</p> <p>報告事項4から7について生涯学習課長に説明を求めた。</p> <p>開催日時は、11月16日(土)が午前9時30分から午後5時まで、11月17日(日)が午前9時30分から午後4時までである。会場は、羽生市民プラザである。</p> <p>参加団体は、羽生市文化団体連合会に加盟している9団体で、絵画や彫刻、生け花など、各団体の作品展示のほか、茶道協会による茶会や、将棋連盟による将棋大会など、参加型の催し物も実施する。</p> <p>本事業については市制施行70周年記念事業として開催することとし、内容については、現在各参加団体が70周年にちなんだ取組を検討しているところである。</p>
<p>報告事項5 第27回羽生市吹奏楽フェスティバルの開催について</p>	<p>生涯学習課長</p>	<p>吹奏楽を愛好する学校や団体に、日頃の練習の成果を発表する機会を提供し、参加者相互の交流及び技術の向上に資するとともに、市民に吹奏楽を視聴する機会を提供することで、文化振興を推進するものである。</p> <p>開催日時は、10月19日(土)の午前11時から、会場は、羽生市産業文化ホールの大ホールで、入場料は無料である。</p> <p>参加団体は、中学校の部は市内3校を含めた4校、高校の部は資料には2校の記載があるが、急きょ花咲徳栄高等学校の参加が決定したことから、高校の部は3校、一般の部は3団体の、合計10団体で開催する。</p>
<p>報告事項6 令和6年度(第14期)子ども大学はにゅうの結果について</p>	<p>生涯学習課長</p>	<p>子ども大学はにゅうは、8月6日の9時30分から16時30分まで及び8日の9時30分から12時15分までの2日間実施した。会場は、埼玉純真短期大学、ものづくり大学、熊谷通運株式会社羽生物流センターである。市内の小学4年生から6年生の26</p>

会議事件名	て ん 末	
<p>報告事項7 令和6年度羽生市人</p>	<p>生涯学習課長</p>	<p>名のほか、サポーターとして、子ども大学はにゅうの卒業生である中学生5名が参加した。当日の講座は4講座で、写真と併せて掲載している。</p> <p>講座1は、「マンダラチャートを作成してみよう～防災編～」と題し、一般社団法人 羽生青年会議所の方々が講師となり、進めていただいた。「災害から命を守る」をテーマにグループで話し合い、日頃から何をしたらいいのかを考え、防災意識を高めた。</p> <p>講座2は、市内企業を知る講座として、熊谷通運株式会社 羽生物流センターを見学した。巨大な倉庫の見学や、トラックの乗車体験などを通して、物流という業種を知り、興味を持った子どもたちが多かった様子だった。</p> <p>講座3は、ものづくり大学において、プログラミングを体験した。グループごとに、プログラミング操作によって、アーム型のロボットを動かし、ジェンガを積み上げるという体験だった。</p> <p>講座4は、埼玉純真短期大学の先生が講師となり、紙を使ってバースデーケーキタワーを作るという内容だった。グループごとに、A4用紙5枚をいかに高く積み上げられるかを実験するもので、皆で意見を出し合って、一つの作品を作り上げていた。</p> <p>最後は、学習のまとめとして、子どもたちが、二日間で一番楽しかったこと、心に残ったことを絵日記として書き、一人ずつ発表をした。</p> <p>開催後のアンケートの結果では、子どもの回答 21 人分のうち、「とても満足」が18人と非常に高く、また、保護者の方からも、「いつもと違う環境の中で、違う学校や学年の子と学ぶことにより、色々な方法や考えがあることを学べた」、「普段はあまり話さないのに、目を輝かせてその日にやったことや見たことを話してくれた」、「こんな大学へ行ってみたいと、将来の目標を持つきっかけを頂いた」など、喜びの感想が多く、充実した内容であったものと感じている。</p> <p>引き続き関係団体の御協力をいただきながら、子どもたちの学びの場の提供に努めてまいりたい。</p> <p>この研修会は、行政関係団体のほか、広く市民に周知をして開催した。開催日は8月1日（木）、会場は、羽生市産業文化</p>

会議事件名	て ん 末	
<p>権教育研修会の結果について</p>	<p>教育長</p>	<p>ホール小ホールで、330名の方に御参加いただいた。</p> <p>研修会の内容は、市内児童生徒による人権作文発表と、講演の二部構成である。講演の講師は「一般社団法人ヤングケアラー協会代表理事」の宮崎成悟氏で、「ヤングケアラー当事者の人生から考える支援のあり方」と題し、自身の約17年間のヤングケアラーとしての経験を踏まえた支援の必要性を訴えられた。</p> <p>参加者のアンケートから「人権作文の発表を聞いて、笑顔の大切さや見方の違いなど、いろいろなことについて考えさせられた」、「子どもたちが抱える問題がますます多様化・複雑化しており、多くの人がある実態を知ることが支援につながると思う」などの声をいただいた。</p> <p>この研修会を通して、市民に人権について考える機会を提供し、理解を深めていただくことができたものと考えている。</p> <p>報告事項8から13について、図書館長兼郷土資料館長から説明を求めた。</p>
<p>報告事項8 絵本専門士による絵本の読み聞かせ会の開催について</p>	<p>図書館長兼郷土資料館長</p>	<p>絵本の読み聞かせを通じて親子の触れ合いや絵本の楽しさを親子で共有し、乳幼児期から読書の大切さを広く周知することで、読書活動を推進し、図書館の利用の拡大と読み聞かせの技術向上につなげていくことを趣旨として開催する。羽生市立図書館主催により、日程は、11月10日13時30分からを予定している。未就学児の部が13時30分から講座の部が14時30分からである。講座内容は、未就学児の部については未就学児とその保護者を対象とした絵本の読み聞かせ会、講座の部については絵本の読み聞かせに興味のある方向けに、絵本の読み聞かせのポイントを紹介する。図書館2階視聴覚室を会場として、講師として絵本専門士である大河原悠哉氏をお招きする。対象は未就学児とその保護者、絵本に読み聞かせに興味がある方を対象とする。講座の部のみ事前申込み制とし、人数制限はない。</p>
<p>報告事項9 令和6年度羽生学講座12の開催について</p>	<p>図書館長兼郷土資料館長</p>	<p>羽生学講座のタイトルは「天正2年(1574)の羽生城について」である。羽生城が天正2年(1574)に自落してから、令和6年(2024)で450年になる。最近の羽生城について、忍びの存在や羽生の地理的な状況など様々な視点から研究されている。</p>

会議事件名	て ん 末	
<p>報告事項10 令和6年度ふるさと講座の開催について</p>	<p>図書館長兼郷土資料館長</p>	<p>そこで、史跡の保存・活用の観点から、羽生城の理解を深めるために専門家を招き、羽生学講座12を開催するものである。開催日時については、12月8日(日)午後2時からを予定している。会場は羽生市立図書館2階視聴覚室である。講師は、埼玉県立自然の博物館学芸員の岩田明広氏を招く。考古学が専門の方である。募集人数は30名を予定している。</p> <p>テーマは絵馬の最新研究である。絵馬は、地域の風景や物語、個人の利益祈願が描かれ、社寺などに奉納された。市内には江戸時代以来の数多くの絵馬が確認され、昭和63年に刊行された「はにゅうの絵馬」では121点が掲載されている。それから40年近くが経つ中、所在が不明となってしまったものも見られるなど、その保護が危ぶまれているのが現状である。今回のふるさと講座は、新たな視点での絵馬研究について紹介・解説し、絵馬の保護への理解を広め、聴講者がその知識について深める機会とする。内容については、令和4年から東京文化財研究所が行っている利根川河川工事絵馬の調査と科学分析の手法について、担当研究員の後藤知美氏に御講演いただく。10月27日(日)午後1時30分から羽生市図書館視聴覚室での開催を予定している。参加費については無料である。</p>
<p>報告事項11 第16回羽生市郷土芸能発表会の開催について</p>	<p>図書館長兼郷土資料館長</p>	<p>文化振興の一環として、舞台芸能以外の獅子舞、万作、お囃子、太鼓、民謡、地芝居などの郷土芸能の発表の場を設けることにより、市内で培われてきた地域文化の継承と団体間の交流を図ることが目的である。また、郷土芸能のより一層の発展を期待するとともに、無形民俗文化財に対する地域住民の興味や理解を深める機会とする。主催は羽生市郷土芸能発表会実行委員会及び羽生市教育委員会である。令和7年2月9日午後1時から羽生市産業文化ホール小ホールでの開催を予定している。出演団体は、羽生市内にある郷土芸能を行う団体のうち最大8団体である。各団体の選りすぐりの演目を披露する。演技時間は1団体につき26分程度で実施する。</p>
<p>報告事項12 図書館・郷土資料館ふれ藍まつりの開催</p>	<p>図書館長兼郷土資料館長</p>	<p>今年度新たに行う事業である。趣旨として、10月27日(日)から11月9日(土)までの読書週間及び11月1日(金)から7日(木)までの文化財保護強調週間に合わせてイベントを実施</p>

会議事件名	て ん 末	
<p>について</p>		<p>し、読書活動の推進と文化財に関する理解と関心を深めることを目的とする。また、羽生市の伝統工芸である藍染を羽生市藍染振興協議会の協力を得て展示し、羽生市の商工振興を図るものである。主催は図書館・郷土資料館、羽生市藍染振興協議会、商工課である。期間は10月27日（日）から11月9日（土）までとし、図書館・郷土資料館屋外前広場で開催する。内容については、10月27日（日）から11月9日（土）は、商工課、羽生市藍染振興協議会による図書館・郷土資料館前広場での藍染商品の屋外展示、郷土資料館に収蔵している藍染関係の資料を展示、図書館による藍染関連の展示を行う。主に10月27日（日）がメインのイベントになるが、商工課の協力をいただき、図書館前広場でキッチンカーによる食品販売並びに藍染体験等を実施する。時間は、食品販売については午前10時から午後3時、藍染体験についても、午前10時から午後2時30分を予定している。同じく館内においては、郷土資料館による藍染の資料の展示、絵本の読み聞かせ会並びにしおり作りをそれぞれ午前11時から午後2時で予定している。11月2日（土）からは郷土資料館常設展示が始まる。また、期間中の11月4日（月・祝）に恒例となっているあおぞらおはなし会を10時30分から開催予定である。</p>
<p>報告事項13 国指定天然記念物宝蔵寺沼ムジナモ自生地見学会の結果について</p>	<p>図書館長兼郷土資料館長</p>	<p>宝蔵寺沼ムジナモ自生地において、食虫植物ムジナモは長年の保護活動により安定して生育している。国指定天然記念物としては、国内最後のムジナモ自生地であり、後世に伝えたい自然となっている。そこで現地を一般公開し、身近な自然に触れることで、ムジナモ自生地への理解と保護の心を育む機会とするものである。羽生市教育委員会が主催し、羽生市ムジナモ保存会の協力を得て、令和6年7月17日（水）、7月24日（水）、7月31日（水）、8月4日（日）、8月7日（水）の5回に分けて実施した。それぞれ参加人数については、5日間で延べ67名に参加していただいた。特筆すべきこととして、今回、川越市、所沢市、東京都など、市外からの参加者が目立った。アンケートによると、新聞を見て参加したということであるが、ムジナモの存在及び自生地の存在の周知について、昨年にNHKで放映した「らんまん」の効果があったのではないかと考えている。</p>

会議事件名	て ん 末	
報告事項14 その他	教育長	その他の報告を求めた。
	スポーツ振興課長	<p>10月20日(日)に行われる「2024 はにゆうスポ・レクフェスタ」のリーフレットが完成した。7月定例教育委員会で開催の報告をしているが、再度説明させていただく。</p> <p>当日は、午前9時からオープニングセレモニーを開始し、オリンピックの青木愛氏の講演後、10時15分に各ブースがスタートする。</p> <p>会場内各エリアにて、23種類(屋内14・屋外9)のスポーツ・レクリエーションブースをスタンプラリー形式で体験していただく。参加者は、体験したブースのスタンプの数により様々な賞品がもらえるほか、アンケートに協力いただいた方にも抽選による賞品を用意する。</p> <p>こちらのリーフレットを、10月の広報とあわせて全戸配布するほか、市内全ての小・中学校、幼稚園、保育園及びいきいき100歳体操の会場に配布する。多くの皆様の来場をお待ちしている。なお、オープニングセレモニーや屋内ブースが多数あるので、お越しの際は、体育館シューズを持参していただきたい。</p>
	教育長	報告事項に関し、意見・質問を求めた。
	柿沼委員	報告事項3の学校給食における防災用のアルファ米について質問である。まとめに、羽生市では長期保存が可能なアルファ米を各公共施設に配備していますと書いてあるが、どのくらいの数量が配備されているのか教えていただきたい。
教育総務課長	市内で保管をしているアルファ米については、市全体で現在のところ54,370食である。教育委員会が管理する施設内において、市内小・中学校では29,250食、9公民館で20,200食、市体育館において800食が保管されている。ローリングストックでの保管のため、全てのアルファ米が同じ賞味期限というわけではなく、大体3回に分けて、買い足し、食べながら管理している状況である。	

会議事件名	て ん 末	
	柿沼委員	ローリングストック法はとても良いやり方だと思う。出張であるホテルに泊まったときに、「賞味期限が近いからどうぞ」と配布をしていたアルファ米があった。そういう取組をホテルもしているのだと思っていた。報道で見たが、東京都港区でもアルファ米を用意していて、災害等があったときにアルファ米を出すということをしていた。非常に良い取組だと思う。今後もこの取組を続けていただきたい。
	学校給食センター所長	防災の日に限らず年1回行うことで、子どもたちの防災意識を向上してもらえればと考えている。
	駒澤委員	報告事項3についてである。約1,260食分のアルファ米が今回使われたということだが、購入金額に換算するといくらになるか。
	学校給食センター所長	約1,260食分で、およそ10万円である。
	駒澤委員	いろいろな企業が市内に進出してきていることを考えれば、羽生市内で製造されている物でこういった防災備蓄品に用いられてくると、今度は地域の活性化にもつながる部分だと思う。何が作られていて何を調達するかは検討しなければいけないところだが、その取組が進むと、より周知をされる可能性が高まるのかなと思う。
	平野委員	報告事項4についてである。羽生市文化祭について、市制70周年記念事業として開催すると記載があるが、例年と違うところがあるのかどうか教えていただきたい。参加団体数も増えているか。
	生涯学習課長	各団体の内容については検討段階だが、俳句連盟は、市制70周年を祝う俳句を展示し、将棋連盟は、参加賞で毎年タオルを配布しており、今年は70周年のロゴが入る予定である。 参加団体数については9団体と、例年と変わりはない。
	平野委員	書も展示しているが、どこの団体が出展しているのか。
	生涯学習課長	美術連盟が書を展示している。

会議事件名	て ん 末	
	田村委員	<p>報告事項 8 についてである。子どもの読書離れが問題になっているところで、絵本の読み聞かせなど小さい頃から絵本に触れることは、良い取組だと思う。報告事項 12 については初めての取組ということであるが、参加賞は何かあるのか。また、藍染め製品の販売はあるか。</p>
	図書館長兼郷土資料館長	<p>絵本の読み聞かせは、読書離れの抑制のほかに図書館利用の拡大も狙っている。</p>
	平野委員	<p>ふれ藍まつりの藍染に関しては、商工課及び藍染振興協議会の協力により藍染めの展示会を行う。参加賞は用意していないが、しおり作りなどの体験コーナーを用意している。</p>
	スポーツ振興課長	<p>報告事項その他についてである。スポ・レクフェスタについて、今年は晴れることを願う。参加団体は昨年度よりも増えているのか。</p>
	駒澤委員	<p>参加団体は、他市の競技参加などもあり、2 団体減っている。今後も増やす努力を続けていきたい。</p>
	生涯学習課長	<p>報告事項 5 についてである。花咲徳栄高校が急きょ参加となったとのことだが、その背景について教えていただきたい。</p>
	駒澤委員	<p>当初参加できないと回答を受けていたが、他のコンクールの日程調整の中で、急きょ参加できると連絡があったものである。</p>
	教育長	<p>他市の高校の吹奏楽部が羽生市で演奏していただけることは、喜ばしいことと感ずる。</p>
		<p>報告事項については、よろしいか。</p> <p>異議なしの声あり</p>

会議事件名	て ん 末	
<p>日程第3 協議事項1 令和7年度当初教職員人事異動の方針</p>	教育長	協議事項1について、学校教育課長から説明を求めた。
	学校教育課長	<p>本市の基本方針は八つである。(1) 埼玉県教育委員会の「令和7年度当初教職員人事異動の方針」及び「令和7年度当初市町村立小・中学校等教職員人事異動方針細部事項」を踏まえながら円滑、適正な人事を行うこと。(2) 適材適所の人事配置を基本に異動を推進すること。(3) 人材育成を期して、異動を推進すること。(4) 各学校の教職員組織の充実と均衡化に努め、地域差・学校差を是正すること。(5) 可能な範囲での新採用教職員の任用により、学校の一層の活性化を図ること。(6) 役職定年後の教職員及び再任用職員の適正配置について。(7) 女性管理職の積極的な登用について。(8) 障害のある教職員の採用についてである。「転任・転補」については「1 基本方針」を踏まえて行う。</p> <p>適材適所の人事配置を行うことはもちろんであるが、学校間の均衡に十分留意して、教職員組織の充実及び教職員の職務経験を豊かにするための人事交流も積極的に行うこととする。併せて学校の気風の停滞を防ぐとともに職務経験を豊かにするため、同一校勤務10年以内の異動を、特に同一校勤務7年以上の者については、積極的に異動を行うこととする。</p>
	教育長	協議事項1について、質問・意見を求めた。
	教育長	県の方針に準じて作成しているのか。
	学校教育課長	そのとおりである。
	教育長	<p>協議事項1については、よろしいか。</p> <p>異議なしの声あり</p> <p>協議事項3は、承認された旨宣した。</p>

会議事件名	て ん 末	
<p>日程第4 議案第50号 令和6年度羽生市公民館長の任命について</p> <p>閉 会</p>	教育長	議案第50号について生涯学習課長から説明を求めた。
	生涯学習課長	この度、岩瀬公民館長より辞任届が提出され、欠員が生じることから、社会教育法第28条の規定により、名簿のとおり岩瀬公民館長を任命することについて、議決を求めるものである。なお、栃金幸雄氏は、令和3年3月31日まで12年間岩瀬公民館長を務めており、今回は再任となる。任期は、前任者の残任期間である令和7年3月31日までである。
	教育長	議案第50号について、質問・意見を求めた。 特になし
	教育長	議案第50号については、よろしいか。 異議なしの声あり
	教育長	議案第50号については、承認された旨宣した。
	教育長	次回教育委員会日程について、事務局より説明の旨。
	教育総務課長	10月定例教育委員会は、10月9日午後1時30分より、301会議室にて開催する。
	教育長	閉会を宣した。

会議事件名	て ん 末	
		<p>教育長 _____</p> <p>委 員 _____</p> <p>委 員 _____</p> <p>書 記 _____</p>